

大阪万博 成功への道

1970年の大阪万博から約半世紀を経て、大阪が万博開催の候補地として名乗りを上げました。世界中の人々に「未来社会をどう生きるか」のテーマで訴えていきます。

基本理念の骨子は現代社会に生じている様々なひずみを踏まえ「持続可能な人類の生き方を改めて問う」とうたい「新たな社会変革への動きにつなげるような万博」と提示しています。

高大では幅広い分野にわたって講座を開設し活動してきました。健康・長寿をはじめとして大阪の歴史、伝統、文化、遺産、音楽、美術、語学、PC、科学・技術、スポーツ、レクリエーション、医療、自然と拡充し、高齢者の生活課題に取り組んでいます。今まで培ったノウハウを生かし大阪万博に生かしていきます。

必ずやいち早く世界一の長寿国になった日本が万博を通してアピールする場面が多々あると思いますし、高大が大阪のために少しでもお手伝いできればと考えています。平均年齢68歳の高大にはいろんな分野の人がいます。いわば人材の宝庫です。貴重な体験、経験を活かし対応していきます。

NPO 法人大阪府高齢者大学校

理事長 和田征士



目次

- [1] 理事長挨拶
- [2] 事業展開コンセプトの理解と提言の骨子
- [3] 元気なシニアより、2025大阪万博への6提言
 - 提言Ⅰ ー 家族揃って、健康づくり、元気づくり、笑顔づくり
 - 提言Ⅱ ー ボランティアの輪を広げて世界と五感の会話（異文化交流）
 - 提言Ⅲ ー 健康長寿に関する寿命調査
 - 提言Ⅳ ー 大阪府高齢者大学校地域コミュニティセンター
「なにわの宮プラザ」を各所に
 - 提言Ⅴ ー 会議、討論開催に係る提案
 - 提言Ⅵ ー 大阪府高齢者大学校受講生による‘万博ニッチボランティア活動’



子供たちと高齢者が軽スポーツを楽しみ交流